

10月1日から串原地域内 有償運送 くしばす 出発

□問い合わせ 串原振興事務所 ☎ 52-2111



▲事務局長の大島さん

「くしばす」は、串原地域自治体運営委員会が主体となって運営しています。委員会の事務局長を務める大島政幸さんに話を聞きました。以前から運行していた「無償運送」ともつては、高齢者の通院のみ

細やかな運行で便利に利用できる

串原の公共交通機関は市自主運行バスと、これを補完するために平成22年から開始した、地域のボランティアによる「無償運送」ともつて「くしばす」が実現しました。今後進む過疎化や高齢化の中、串原地域住民が安心して生活を続けられるよう、串原の交通について地域で検討が重ねられました。継続可能で利用しやすい体制として「無償運送」ともつて「くしばす」の運行を開始することとなりました。

串原地域内有償運送「くしばす」が出発!



▲新たな交通手段「くしばす」

の利用に限られていましたが、「くしばす」は地域住民のみならず、誰でも利用できます。中山神社を見に行きたいときなど、観光への利用もできます。地域住民の方は、市の自主運行バスへ乗り継いで串原地域外に出掛けるために、自宅から近くのバス停までの利用をしても便利です。他にも、串原診療所の通院や市民講座を受講するためにコミュニティセンターへ行く、地域の親睦会で飲酒した後家へ帰るなど、手軽に利用していただけます。現在、18人が「くしばす」運転手として活躍しています。車両は2台で運行しています。地域の身近な交通手段として、「くしばす」をどんどん利用してください。

くしばすへ聞いてみる!

- Q: くしばすは誰でも乗れるの?
A: 誰でも乗れます!
- Q: どうやったら乗れるの?
A: 利用したい日の3日前、午後5時15分までに串原振興事務所に電話(52-2111)して予約してください。串原振興事務所の閉庁日は予約できないので注意してください。
- Q: くしばすはどこまで行けるの?
A: 串原地域内ならどこでも行けます。地域外は行けません。
- Q: 何時から乗れますか?
A: 午前6時から午後9時まで運行します。年末年始以外は毎日運行します。
- Q: でも、料金は高いんでしょう?
A: 片道で大人なら200円、小中学生なら100円です。もっと詳しく聞きたい方は串原振興事務所へお尋ねください。

「くしばす」に乗ってみて

「くしばす」を利用した、柴田さんと安藤甲子さんに感想を聞いてみました。

安藤さん: 予約していれば、行きも帰りも安心。大正琴の講座に出掛けるのも、楽器を持って行くのは大変だけれど、くしばすなら楽に行ける。

柴田さん: 家まで来てくれるのがうれしい。そこが一番の魅力。地域の人が運転手をしているから安心。串原中学校まで利用して、地域の高齢者交流会行事にも参加できて楽しかった。



▲柴田さん(左)と安藤さん(右)

物知りおじさんのふるさと情報



市文化財保護審議会委員
西部 良治さん
(長島町)

正家廃寺を知っていますか(後編)

今回は、正家廃寺の年代や形についてお話ししました。今回は誰もが疑問に感じる「このお寺は誰が何のために造ったのか」についてお話しします。といっても実はその疑問について、いまだに分かっていません。なぜなら正家廃寺について書かれた記録(文献資料、もしくは名などが刻まれた金属板とか石など)が現在のところ存在せず、寺の本当の名前さえも分かっていないからです。平城京にあったような中央の寺院については、さまざまな記録があります。しかし、正家廃寺のような地方の古代寺院の多くはそうした資料がありません。発掘調査でも現在のところ、文字が残されている遺物がほとんど出土していないことから、誰が造ったのか分からないのです。

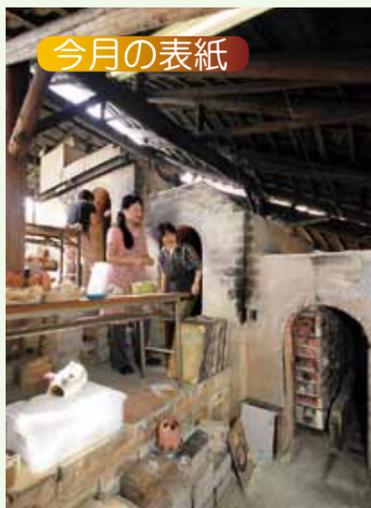


▲中央政府とのつながりをうかがわせる三彩陶器などの破片

ただ長島町には多くの古墳があり、有力な豪族が住んでいた可能性が高いです。古墳と同じく寺院を造るにも多大な労力と財力が要りますから、こうした豪族やその子孫が八世紀ごろに古代寺院を造ったことは考えられるでしょう。では何のために造ったのでしょうか。造ったのが豪族であれば、自分の力を示すこともあったとも思われます。法隆寺を思わせる伽藍配置や平城京で重宝された三彩陶器のような出土品から、当時の中央政府とのつながりも推測されます。政府の制度や指示を伝える役割を持った行政的な施設であったかもしれません。正家廃寺は確かに仏教寺院ではあったのですが、当時の仏教はいわゆる国の安寧を願う鎮護仏教であり、国策の一環として建築されたかもしれません。

ふるさとに学び郷土愛を育む、毎月第3日曜日は「恵那市読書の日」
市中央図書館 伊藤文庫

今月の表紙



陶士の町山岡町で窯詰め体験

10月5日から3日間にわたって、山岡陶業文化センターで窯詰め体験が行われました。この窯詰め体験では、同月14日に行われた「登り窯フェア」のメインイベントとなる登り窯焚きで本焼きなどされる作品を事前に一つ一つ丁寧に窯へ詰めました。3日間で約60人のボランティアの手によって、1,308作品が窯に詰められました。作品の中には一年間かけて制作された大作も多くありました。

広報えな11月号 目次

- 3 特集 新たな公共交通が出発
- 6 特集 エルランラリー in 恵那 2018
- 8 注目情報
- 10 お知らせ
- 16 みんなの掲示板・おくやみ
- 18 健康ガイド
- 19 子育て支援センター・相談
- 20 地域情報トピックス
- 21 図書館・文化施設情報
- 22 エーナの社会見学
- 23 ビジネスサポートセンター
- 23 健幸レシビ・男女共同参画
- 24 出生・1歳になりました園・小中学校トピックス
- 25 輝く恵那人
- 26 ニュースと話題
- 28 児童虐待防止

市ウェブサイト
あなたの知りたい情報を分かりやすく提供しています。

市メール配信サービス
防災や観光などの情報を電子メールで配信しています。

メールの登録は無料ですが、接続料や通信料は利用者負担となります。ウェブサイト閲覧は無料ですが、接続料などは同様です。

数字で見る 恵那市

人口(10月1日現在)

総数	50,575人	(+8)
男	24,606人	(+5)
女	25,969人	(+3)
世帯	19,763世帯	(+27)

()内は前月との比較

人口動態(9月異動)

出生	28人
死亡	37人
1月からの自然増減	-293人
転入	104人
転出	87人
1月からの社会増減	-66人

救急車出動回数(9月)

196回(1,845回)
()内は1月からの累計

交通事故(9月中の概数)

人身事故	4件	(79件)
物損事故	128件	(1,063件)
負傷者	5人	(103人)
死者	0人	(0人)
()内は1月からの累計		

火災(9月)

建物	0件	(9件)
その他	0件	(13件)
()内は1月からの累計		

デマンド交通岩村・山岡地域で 「よやくくる号」が運行開始

新たな地域の公共交通が出発

岩村町と山岡町は、明知鉄道沿線地域公共交通網形成計画で示されている路線や便の見直し基準、恵那市地域公共交通計画で示されている指標に達していない路線がありました。さらに両地域は乗車数が少ない地域であったため、市は地域に地域路線の検討を依頼しました。

両地域では地域路線のあり方検討委員会を立ち上げ、利便性が高く、誰もが安心して利用できることに重点を置いて地域の公共交通について検討してきました。平成30年2月にデマンド交通の導入について提案がありました。同年3月15日に恵那市地域公共交通会議で岩村町と山岡町にデマンド交通を導入することについて承認を受けました。その後、事業者の選定を行い、

10月1日から運行しています。

デマンド交通ってどんな交通手段？

デマンド型交通とは、路線バスとタクシーの中間的な位置にある交通機関です。事前予約により運行するという特徴があり、運行方式や運行ダイヤ、さらに発着地の自由度の組み合わせにより、多様な運行が可能となります。

自治体が導入する自主運行バス的一种で、使用車両によって「デマンドタクシー」とも呼ばれます。自主運行の定期路線バスと違い、自宅近くに停留所が設置されるといった利便性があります。

「よやくくる号」ってどんな意味？

「電話で予約をする」と「来る」公共交通ということから、「よやく」「くる」を合わせて

「よやくくる号」という愛称にしました。

「よやくくる号」はどんな車で運行しているの？

大型のバスではなく、地域で乗車する人数に合わせた車両で運行しています。幹線道路から外れたところまで運行できる車両で運行します。岩村町ではタクシーを使用して、山岡町では15人乗りの小型バスを使用しています。



▲岩村町で運行する車両

す。

□問い合わせ 観光交流課 ☎26-2111 (内線388)



▲山岡町で運行する車両

「よやくくる号」は何人で乗るのですか？

同じ便で、何人の方が予約するかによって乗る人数が決まります。満員になることもあれば、一人の場合もあります。

同じ便に予約する方が多い場合は、バスの到着時間が若干遅くなります。

利用のイメージ
乗り合い運行になる場合は、他の目的地やバス停を回りながら運行します。

Aさんがバス停で乗車 → Bさんがバス停で乗車 → 目的地の郵便局へ

岩村 予約の電話番号0573-43-2165

お近くのバス停から目的地へ

目的地一覧 岩村駅、総合福祉センター（岩村診療所）、岩村警部交番前（十六銀行岩村支店）、旧岩村振興事務所前、JA岩村支店、岩村郵便局、くらし歯科、パロー岩村店、下切公会堂

岩村町内のバス停から目的地へ出発	2便	9:10ころ	目的地から岩村町内のバス停へ出発	1便	8:40ころ
	4便	10:15ころ		3便	9:45ころ
	6便	12:25ころ		5便	11:55ころ
	8便	16:15ころ		7便	15:45ころ



▶後藤通男さん

地域の公共交通を検討する会に参加した、恵那壮健クラブ連合会副会長で同クラブの岩村支部長も務める後藤通男さんに話を聞きました。

「地域の足となるバスが無くなるのは困ると、壮健クラブでも問題になりました。最近では運転免許証を返納する人も多くいます。返納した方や以前からバスを利用していた方には、新しく始まったデマンド交通について説明をしています。まだまだ、始まったばかりのよやくくる号なので、乗り方を知っている人は少数です。よやくくる号は片道300円で、郵便局や歯医者へ簡単に行くことができます。みんなにどんどん乗ってもらえるよう教えていきたいです。」

両地域共通

- ・利用する場合は、前日午後4時までに電話で予約してください。その際、何日にどの便に乗車するかなどを教えてください。
- ・予約時間は午前8時から午後4時までです。
- ・運行日は月曜日から金曜日までです（祝日と年末年始は運休します）。
- ・料金は片道300円です。

山岡 予約の電話番号0573-56-3838

お近くのバス停から目的地へ

目的地一覧 山岡駅、JA遠山支店前（恵南グリーンセンター）、山岡郵便局前、山岡振興事務所前、健康プラザ（山岡診療所）、庚申下西（みうらや）、東原（鶴岡郵便局）

鶴岡地区のバス停から目的地へ出発	鶴岡2便	9:05ころ	目的地から鶴岡地区のバス停へ出発	鶴岡1便	8:50ころ
	鶴岡4便	11:15ころ		鶴岡3便	11:00ころ
	鶴岡6便	12:45ころ		鶴岡5便	12:30ころ
	鶴岡8便	15:35ころ		鶴岡7便	15:20ころ
遠山地区のバス停から目的地へ出発	遠山2便	8:35ころ	目的地から遠山地区のバス停へ出発	遠山1便	8:20ころ
	遠山4便	10:45ころ		遠山3便	10:30ころ
	遠山6便	12:15ころ		遠山5便	12:00ころ
	遠山8便	15:05ころ		遠山7便	14:50ころ



▶藤井浩一さん

山岡町内で運行を始めたデマンド交通について、デマンドバス向上委員会の藤井浩一委員長に話を聞きました。

「昨年からは山岡町内の新たな公共交通としてデマンド交通を検討し、本年10月1日からスタートしました。通院や買い物などにも手軽に使ってもらえるように、地域でバス停の場所などを検討して、使いやすさを重視して設置してきました。家に一人にいるより、よやくくる号を使ってコミュニケーションセンターなどを利用してもらえれば、いろいろな人と出会えて楽しく過ごせるのではないのでしょうか。今後は、各区から新たなバス停の設置要望があれば検討し、より使いやすい公共交通にしていきたいです。」